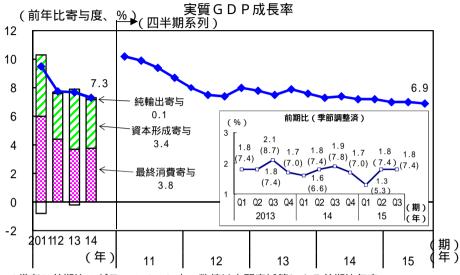
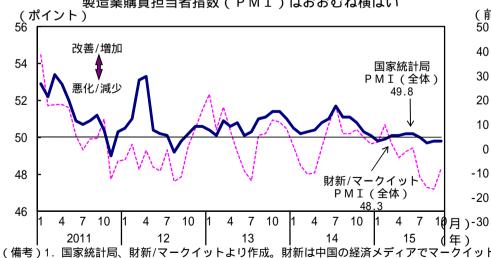
## 2.アジア地域

## 中国:

中国では、景気は緩やかに減速している。



(備考)前期比のグラフの()内の数値は内閣府試算による前期比年率。

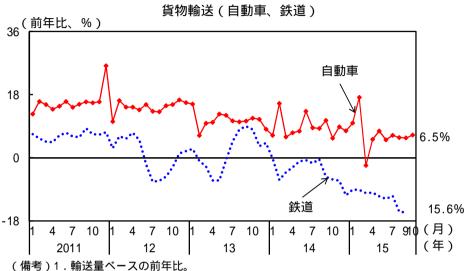


製造業購買担当者指数(PMI)はおおむね横ばい

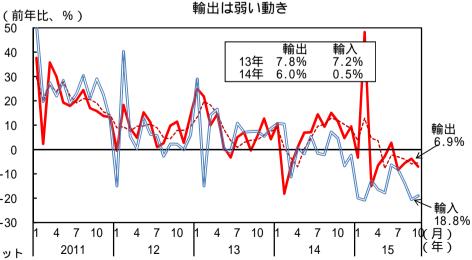
2.製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう 変わったのかを集計。国家統計局については、13年1月より、統計対象社数に変更 があったため、厳密には13年1月前後では接続しない。

3. 統計対象社数は、国家統計局が3,000社、財新が420社。

社との共同調査により、独自にPMIを発表している。

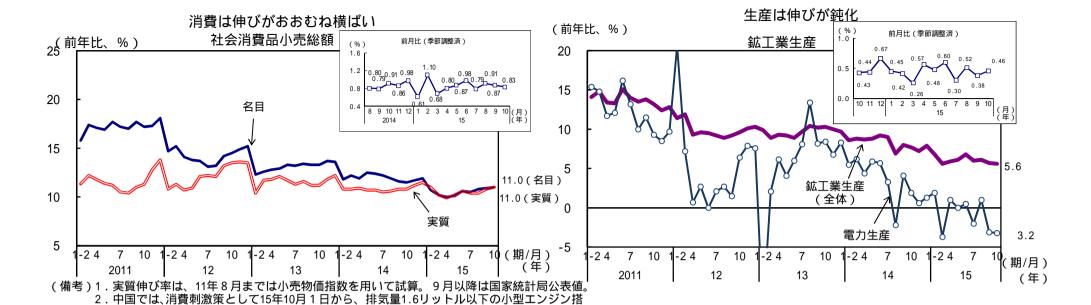


2.14年以降の自動車輸送量の伸びについては、当局発表の累計の伸びを元に 当室試算。



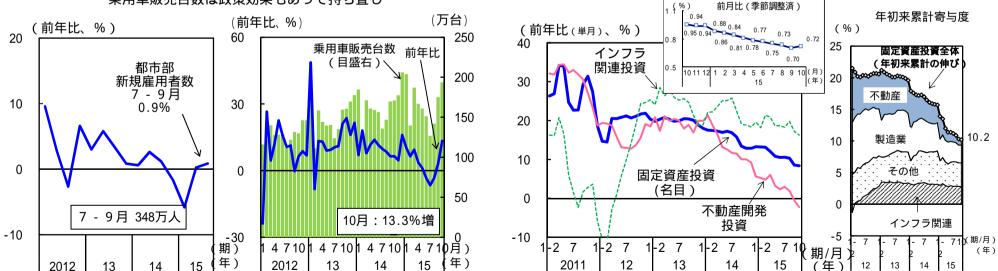
(備考)1.輸出入とも実額(実線)。点線は輸出の3か月移動平均。

2.春節(旧正月)休暇は、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~ 2月6日、15年2月18~24日。



都市部新規雇用者数は伸びがおおむね横ばい、 乗用車販売台数は政策効果もあって持ち直し

載車に対する車両購入税を半額にする措置を実施中。

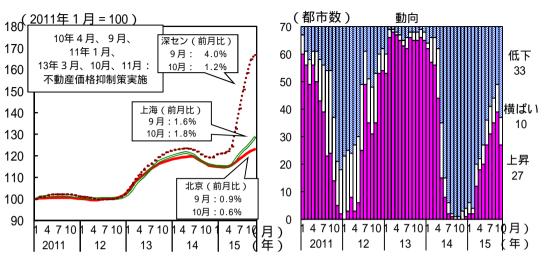


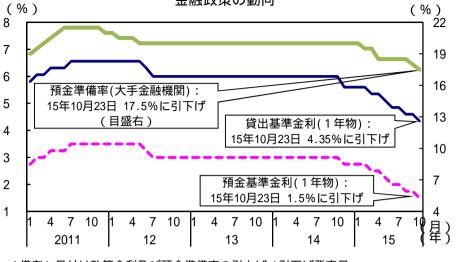
(備考)1.都市部新規雇用者数は、四半期の累計で公表された値を単四半期化した。 (備2.乗用車販売台数は出荷ベース。年間販売台数(前年比)は、12年7.1%増、13年15.7%増、14年9.9%増、

(備考)インフラ関連投資は、道路、ダム、鉄道等の投資額を合算したもの。 また、いずれも単月試算値の3か月移動平均の前年比。

固定資産投資は弱い伸び

## 新築住宅販売価格:主要都市で持ち直しの動き

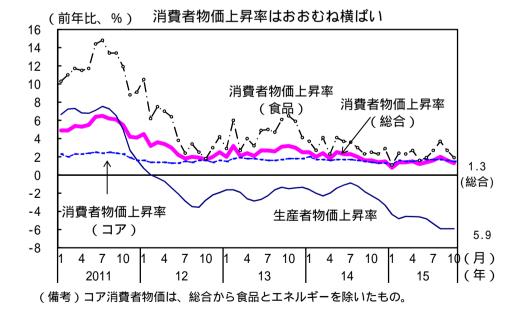


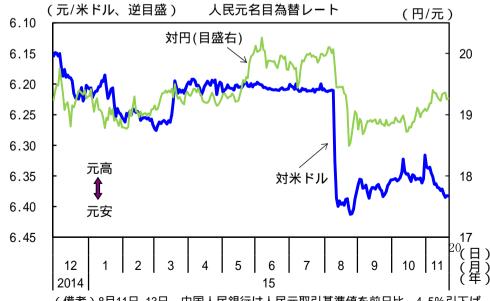


金融政策の動向

(備考)価格水準は、11年1月の1㎡当たりの価格を100として指数化。動向は、前月比でプラスの都市を「上昇」、±0.0%の都市を「横ばい」、マイナスの都市を「低下」とした。

(備考)日付は政策金利及び預金準備率の引上げ/引下げ発表日。





(備考)8月11日-13日、中国人民銀行は人民元取引基準値を前日比 4.5%引下げ。 元安誘導を実施。

## その他アジア(韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド):

韓国では、景気は内需を中心にこのところ持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気は弱い動きとなっている。 インドネシアでは、景気は内需を中心にこのところ持ち直しの動きがみられる。タイでは、景気は減速している。 インドでは、景気は持ち直している。

